

1 調査の概要

(1) 調査日時 令和元年7月4日(木)

(2) 調査の対象学年 (悉皆調査)

○小学校第5学年 1,281校 94,081名
○中学校第2学年 623校 68,160名

(3) 調査内容

① 教科に関する調査〔教科の内容〕

〔国語、社会、算数・数学、理科、英語〕

② 児童・生徒質問紙調査

学習と関わりのある児童・生徒の意識や生活状況

③ 学校質問紙調査

指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備状況

(4) 各教科の平均正答率と、習得目標値の問題数及び平均正答率

小学校	平均正答率	全問題数	習得目標値の問題	
			問題数	平均正答率
国語	67.0%	18問	4問	78.6%
社会	66.3%	18問	9問	65.5%
算数	60.0%	26問	7問	63.0%
理科	56.6%	19問	5問	72.5%

●習得目標値の問題：教科書の例題レベルの問題

中学校	平均正答率	全問題数	習得目標値の問題	
			問題数	平均正答率
国語	71.9%	24問	12問	76.0%
社会	51.1%	27問	7問	58.5%
数学	54.5%	23問	10問	58.8%
理科	49.5%	25問	8問	55.6%
英語	57.5%	24問	7問	61.0%

2 結果の概要

(1) 学力の定着が図られている問題例

◇小学校算数

□に当てはまる数字を書きましょう。

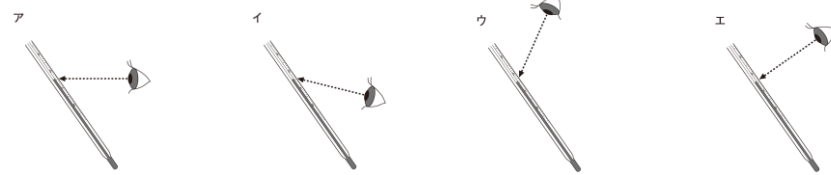
正 答 640
正答率 76.0%

6.4は、0.01を□個集めた数です。

参 考：平成25年度
正答率 65.5%

◇小学校理科

温度計の目もりの読み方として最もふさわしいものを、下のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えましょう。



正 答 エ
正答率 74.2%

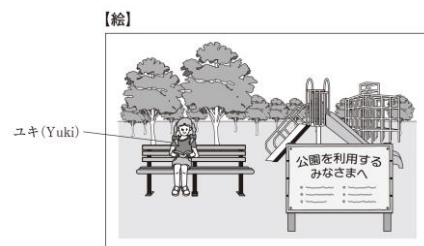
参 考：平成23年度 正答率 43.4%
平成29年度 正答率 71.6%

(2) 改善が図られつつある問題例

◇中学校英語

次の【絵】を見て、そこから分かるユキ (Yuki) の様子について表現する英文を、1文書きなさい。

なお、英文は必ず Yuki is から書き始め、Yuki is を含めて5語以上とすること。



正答例 Yuki is reading a book in the park.
正答率 57.8%

参 考：平成30年度 正答率 36.4%

○これまで課題があり、経年で変化を見る必要のある問題については、おおむね改善が図られている。

(3) 定着が不十分な問題例

◇小学校国語

_____をつけた言葉がくわしく説明している部分を、あとのアからエまでの中から一つ選び、記号で答えましょう。

毎日、友だちといっしょに校庭を走る。

ア 友だちと イ いっしょに ウ 校庭を エ 走る

解答	ア	イ	ウ	エ	無解答
反応率	29.7%	14.3%	10.5%	44.6%	0.8%

◇中学校国語

_____を付けた言葉が直接かかる部分として最も適切なものを、あとのアからエまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

明日から 学校で運動会に 向けて練習が 始まる。

ア 明日から イ 運動会に ウ 練習が エ 始まる

解答	ア	イ	ウ	エ	無解答
反応率	5.8%	13.8%	42.9%	37.1%	0.4%

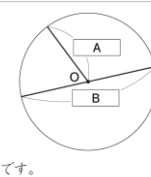
◇小学校算数

次の【円についての説明】の□Aから□Cまでに当てはまるものとして最もふさわしいものを、下のアからエまでの中からそれぞれ1つ選び、記号で答えましょう。

ア 直径
イ 半径
ウ 2倍
エ $\frac{1}{2}$

【円についての説明】

点Oにコンパスのはりをさして、円をかきました。点Oのことを円の中心といいます。点Oから円の周りにまで引いた直線を円の□A□といいます。点Oを通り、円の周りにまで引いた直線を円の□B□といいます。□A□の長さは、□B□の長さの□C□です。



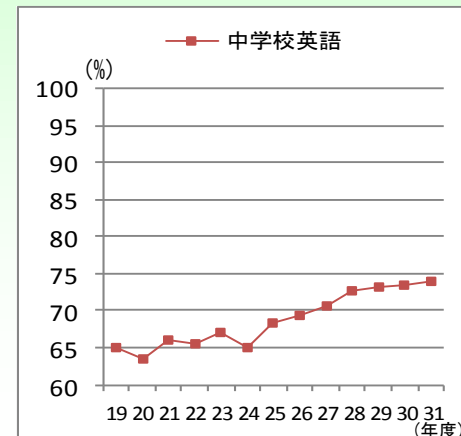
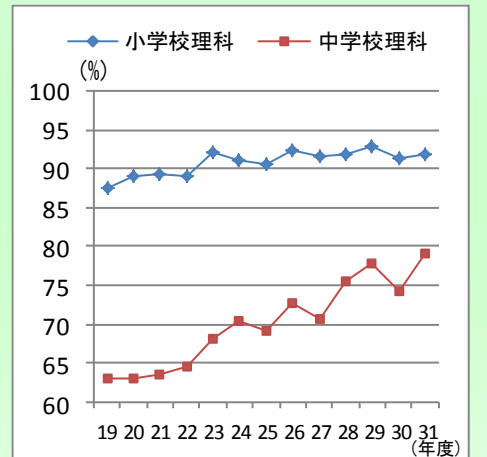
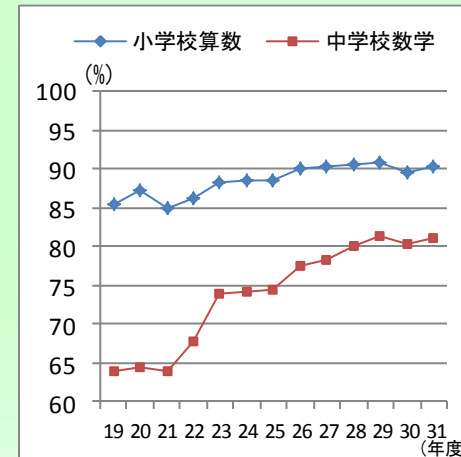
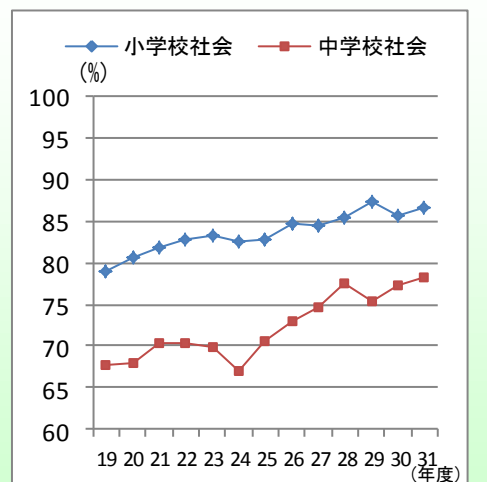
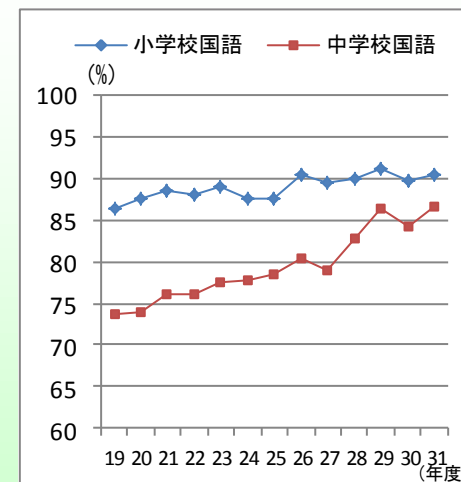
解答	Aイ、Bア、Cエ	Aイ、Bア、Cウ	Aア、Bイ、Cウ	Aア、Bイ、Cエ	その他	無解答
反応率	43.9%	31.2%	7.2%	3.3%	13.2%	1.1%

○文の構成を理解すること、複数の情報に関連付けて理解し表現することに課題が見られる。

(4) 授業内容の理解度—児童・生徒質問紙調査より—

◇「授業の内容はどのくらい分かりますか。」

「よく分かる」、「どちらかといえば分かる」と回答した児童・生徒の割合



○授業の内容が「分かる」、「どちらかといえば分かる」と回答した児童・生徒の割合は、小学校において高い状態を維持し、中学校においても増加傾向にある。

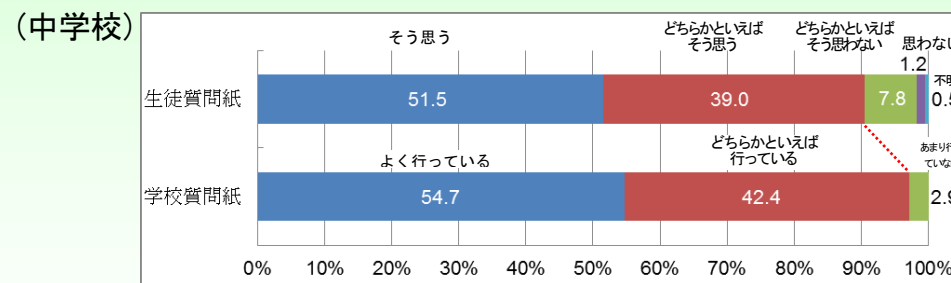
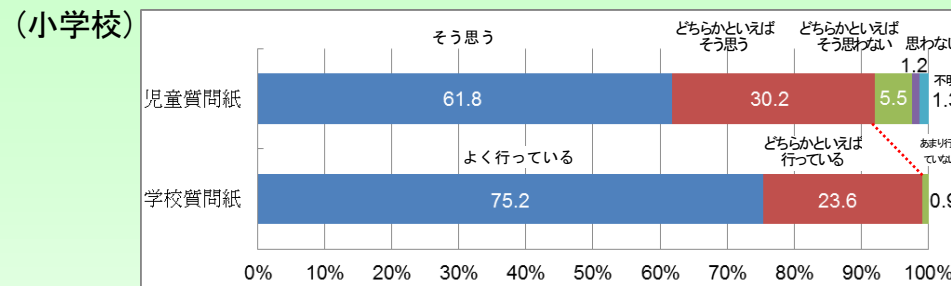
(5) 授業の目標の提示に関する質問の調査結果と平均正答率との関連 —児童・生徒質問紙調査、学校質問紙調査より—

◇児童・生徒質問紙調査「授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか。」

(小学校)	授業の中で目標が示されていると思うことと平均正答率との関係	平均正答率 (%)			
		国語	社会	算数	理科
	そう思う	71.2	71.0	64.6	60.4
	どちらかといえばそう思う	63.6	62.0	55.1	53.0
	どちらかといえばそう思わない	55.8	53.4	45.2	45.2
	思わない	50.8	51.6	43.3	40.5
	「そう思う」と「思わない」の差	20.4	19.4	21.3	19.9

(中学校)	授業の中で目標が示されていると思うことと平均正答率との関係	平均正答率 (%)				
		国語	社会	数学	理科	英語
	そう思う	73.3	51.7	54.2	50.0	56.9
	どちらかといえばそう思う	71.4	50.7	52.6	49.4	55.6
	どちらかといえばそう思わない	67.3	48.8	50.6	46.9	54.7
	思わない	56.5	39.6	38.7	39.1	43.8
	「そう思う」と「思わない」の差	16.8	12.1	15.5	10.9	13.1

◇学校質問紙調査（「授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れている。」との差

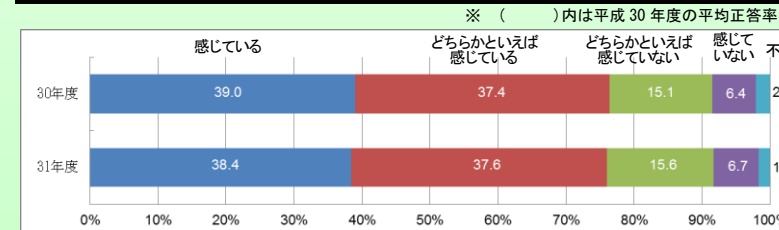


- 肯定的な回答をした児童・生徒ほど正答率が高い。
- 授業の目標の提示に関して、児童・生徒と教師とでは意識の差が見られる。

(6) 自尊感情に関する質問の調査結果と平均正答率との関連 —児童・生徒質問紙調査より—

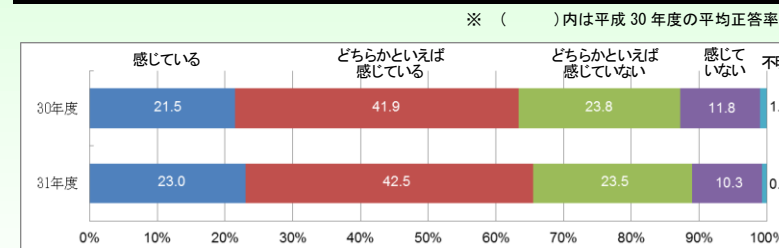
◇「自分のことを大切な存在だと感じていますか。」(小学校)

自尊感情と平均正答率との関係	平均正答率 (%)			
	国語	社会	算数	理科
感じている	68.3 (66.5)	67.6 (70.4)	61.6 (53.8)	57.5 (70.2)
どちらかといえば感じている	68.4 (66.5)	67.8 (70.4)	61.3 (53.1)	57.8 (70.8)
どちらかといえば感じていない	66.2 (63.5)	64.8 (67.1)	57.6 (50.4)	55.5 (67.7)
感じていない	65.3 (63.6)	64.0 (66.5)	55.6 (50.7)	53.7 (67.3)
「感じている」と「感じていない」の差	3.0 (2.9)	3.6 (3.9)	6.0 (3.1)	3.8 (2.9)



(中学校)

自尊感情と平均正答率との関係	平均正答率 (%)				
	国語	社会	数学	理科	英語
感じている	72.3 (73.8)	52.1 (62.5)	54.7 (55.3)	49.8 (54.3)	58.2 (57.8)
どちらかといえば感じている	72.9 (74.1)	51.8 (62.4)	54.1 (55.4)	49.9 (54.6)	57.5 (57.6)
どちらかといえば感じていない	71.6 (72.9)	50.5 (59.9)	52.3 (52.5)	49.5 (52.7)	54.5 (54.4)
感じていない	67.6 (70.0)	46.3 (55.9)	47.2 (47.5)	46.3 (49.5)	49.2 (50.4)
「感じている」と「感じていない」の差	4.7 (3.8)	5.8 (6.6)	7.5 (7.8)	3.5 (4.8)	9.0 (7.4)

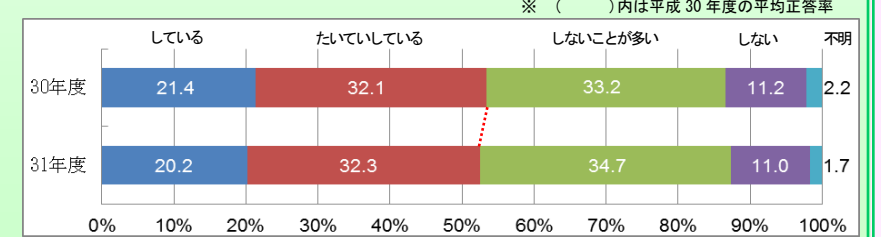


- 肯定的な回答をした児童・生徒ほど正答率が高い。
- 肯定的な回答とそうでない回答をした児童・生徒の正答率の差は、昨年度とほぼ同様である。

(7) 家の人との会話に関する質問の調査結果と平均正答率との関連 —児童・生徒質問紙調査より—

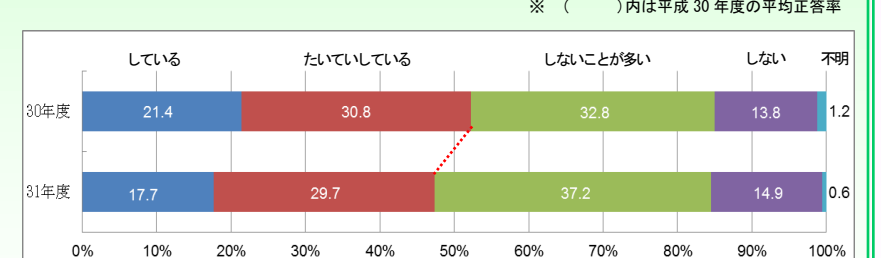
◇「家の人と、社会の出来事について話をしていますか。」(小学校)

家の人と、社会の出来事について話をしていることと平均正答率との関係	平均正答率 (%)			
	国語	社会	算数	理科
している	72.4 (70.4)	71.8 (74.0)	66.5 (57.4)	61.6 (72.7)
たいていしている	68.7 (67.2)	68.4 (71.3)	61.4 (54.1)	58.2 (71.1)
しないことが多い	66.4 (64.1)	65.4 (68.0)	58.5 (50.9)	55.3 (69.1)
しない	61.4 (58.4)	59.4 (61.6)	52.4 (45.9)	50.6 (63.0)
「している」と「しない」の差	11.0 (12.0)	12.4 (12.4)	14.1 (11.5)	11.0 (9.7)



(中学校)

家の人と、社会の出来事について話をしていることと平均正答率との関係	平均正答率 (%)				
	国語	社会	数学	理科	英語
している	75.3 (76.9)	55.7 (65.5)	56.9 (58.4)	52.5 (56.8)	59.9 (60.6)
たいていしている	74.0 (75.0)	53.1 (63.7)	54.9 (56.2)	50.8 (55.2)	58.5 (58.2)
しないことが多い	70.8 (71.9)	49.6 (59.1)	52.4 (51.9)	48.7 (52.3)	54.7 (54.0)
しない	66.2 (67.0)	44.8 (53.0)	47.0 (45.5)	44.8 (47.4)	50.2 (48.9)
「している」と「しない」の差	9.1 (9.9)	10.9 (12.5)	9.9 (12.9)	7.7 (9.4)	9.7 (11.7)



- 肯定的な回答をした児童・生徒ほど正答率が高く、その差は中学校第2学年よりも小学校第5学年のほうが大きい。
- 肯定的な回答をした児童・生徒が減少している。

3 取組の方向性

- 知識及び技能の確実な定着や思考力、判断力、表現力等の一層の伸長を図るため、児童・生徒が授業の目標を自覚して取り組むことができる学習活動を促進する等、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善の更なる充実を図る。
- グループ活動等において互いの考え方のよい点等を認め合う学習活動を促進し、主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。
- 家庭での学習や生活についてまとめた保護者向け「リーフレット」による情報を発信し、学校と家庭、地域との連携の充実を図る。